



稲作コンソーシアムのご案内

水田のメタンガス削減に取り組み、J-クレジット制度に参画してみませんか？

水稻栽培において、
中干し期間を7日間（※）以上延長することでカーボンクレジットを創出することができます。

（※）直近2か年以上の平均実施日数より7日間以上延長する

□ J-クレジット制度とは

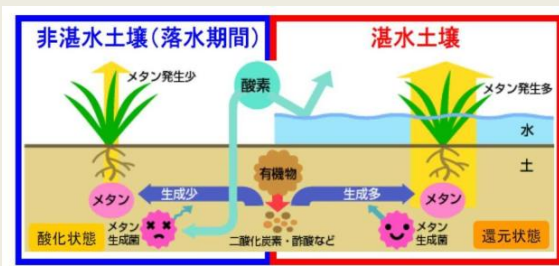
J-クレジット制度とは、省エネの導入や再エネの利用、農林業による取り組み等による温室効果ガスの排出削減・吸収量をクレジットとして認証する制度で、経済産業省、環境省、農林水産省が運営している国が認証する制度です。

□ 稲作コンソーシアムとは

J-クレジットの登録・申請には数百万円の費用と手続き者類策の手間がかかるため、参加者を募りまとめて申請、登録する「稲作コンソーシアム」が2023年4月に発足されました。

□ メタンガスの発生要因

湛水（水を満たした状態）土壌の場合、メタン生成菌からメタンガスが発生するため、落水期間（中干期間）を設けることでメタンガスの発生を抑制できる。



コンソーシアム参加メリット



登録費用・クレジット申請
登録手続きが不要

稲作コンソーシアム登録費用は無料。
中干し延長を実施できなくてもペナルティは
ございません。



クレジット創出による
副収入取得

クレジットの売買益を副収入として獲得
することができます！



Agreen（アグリーン）を活用しクレジット
創出における質の向上と工数削減

独自のJ-クレジット申請システムAgreenで
簡易的に申請が可能。



環境配慮米として
ブランディング化

環境に配慮したお米としてブランド価値を
付与して新規販路の拡大やPRが可能に

ご提出 必要情報

1 圃場の住所・面積

2 過去2年の中干し記録

(作業日誌・営農支援サービス・生産管理記録等)

3 排水性の実測のための日減水深の写真

4 過去の中干し期間ごとの圃場のグループ分け

5 圃場の住所・面積の根拠となる書類

(営農計画書・水稲共催細目書等)

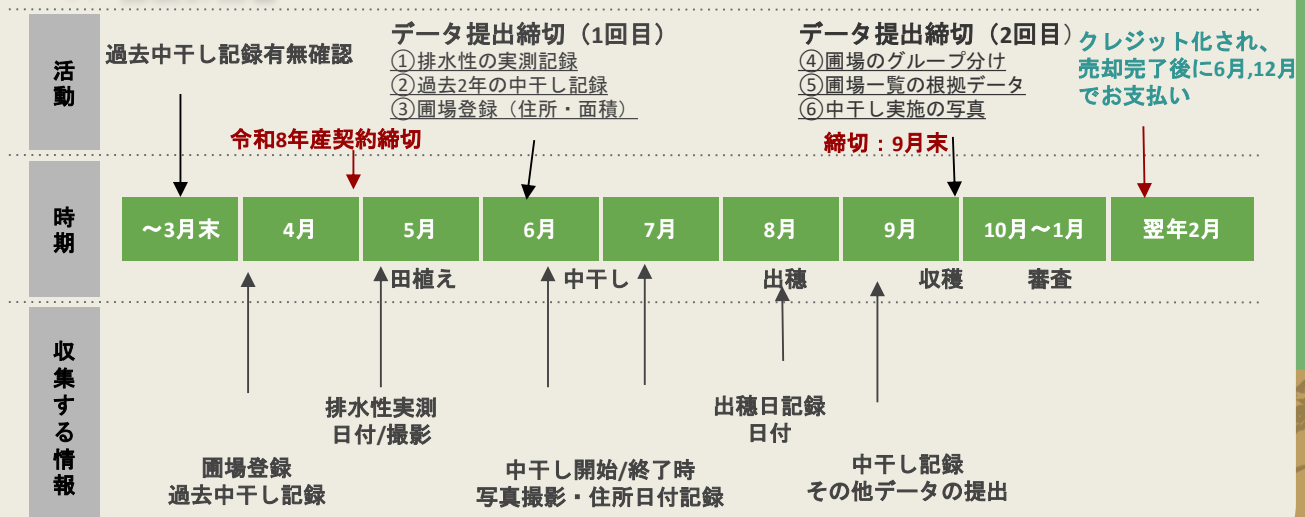
6 今年度の中干し実施写真

(取水口・排水口・全体の様子を開始時と終了時に)

スケジュールイメージ

下記情報の提出で申請可能です

1. 直近2年間の中干しの記録
2. 田植え前の日減水深測定（生産者あたり代表1圃場）
※測定できなくても申請可能
3. 中干し期間の延長時の撮影（グループ毎代表1圃場）＋出穂/収穫日
4. 営農計画書



green carbon 会社案内動画はこちら

